

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 500 号	氏名	西 活央
学位審査委員	主 査	前村 浩二	
	副 査	高橋 晴雄	
	副 査	蒔田 直昌	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、心臓弁膜症に対する人工弁置換術後に、弁の開閉音が患者の Quality Of Life (QOL) におよぼす影響を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 日本の 7 施設において人工弁（機械弁）置換術を受けた患者に対してアンケート調査を行い、QOL の評価には SF-36 を使用した。弁開閉音聴取の有無や、QOL を弁種間（ATS、SJM、CM）で群間比較し、さらに弁開閉音聴取や患者の QOL に影響する因子として、性、年齢、弁種、弁位、体表面積等についてロジスティック回帰分析を行ったもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、ATS 弁が SJM 弁や CM 弁に比較して人工弁開閉音が気にならない傾向にあった。さらに、女性、若年者、大動脈弁置換で開閉音が気になりやすい傾向にあることを明らかにし、今後の人工弁置換術後の患者の QOL 向上に向けた研究への応用が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は心臓血管外科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			